

URGCCマトリクス

【学士教育プログラム学習教育目標とURGCC学習教育目標との対応関係表】

エネルギー環境工学学士教育プログラム

	URGCC学習教育目標	自律性	社会性	地域・国際性	コミュニケーション・スキル	情報リテラシー	問題解決力	専門性	
		自分自身が掲げる目標の達成に向けて、自律的に学習し行動することができる。	市民として社会の規範やルールを理解し、倫理性を身に付け、多様な人々と協調・協働して行動できる。	地域の歴史と自然に学び、世界の平和及び人類と自然の共生に貢献することができる。	言語とシンボルを用いてコミュニケーションを行い、自分の考えや意思を明確に表現することができる。	幅広い分野の情報や知識を多様なチャンネルから収集し、適切に理解した上で取捨選択し、活用することができる。	批判的・論理的に思考するとともに、これまでに獲得した知識や経験等を総合して問題を解決することができる。	専攻する学問分野における思考法、スキル、知識等を体系的に身に付け、活用することができる。	
学士教育プログラム学習教育目標	1 分析・行動(地域・国際性、自律性) 広く国際社会を俯瞰したエネルギー・環境問題の現状を捉えつつ、地域との関わりを意識した持続可能な社会と人との諸問題について自主的かつ継続的に学習し、自らの考えを構築する能力を身に付ける。	○		○					
	(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) エネルギー・環境問題について国際社会と地域との関わりを意識しながら、自主的、継続的に学習し、自らの考えを構築する能力を養うため								
	2 倫理(社会性) 知識や情報を、社会規範と高い倫理性をもって適切に判断し、責任感をもって行動する能力を身に付ける。		○						
	(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 社会規範と高い倫理性をもって知識や情報を適切に判断し、責任感をもって行動する能力を養うため								
	3 知識(専門性、情報リテラシー) 幅広い教養と自然科学の基礎知識を有するとともに、エネルギー・環境についての専門知識を体系的に理解し、活用できる能力を身に付ける。						○		○
	(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 幅広い教養と自然科学の基礎知識を有するとともに、エネルギー・環境についての専門知識を体系的に理解し、これらを活用できる能力を養うため								
4 協働・コミュニケーション(チームワーク、コミュニケーション・スキル) 自らの考え方が説明でき、かつ他者の考え方も理解できるコミュニケーション能力を有するとともに、他者と相互に協力しながら行動する能力を身に付ける。また国際社会で必要な英語などによるコミュニケーション基礎能力を身に付ける。		○			○				
(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 自らの考え方が説明でき、かつ他者の考え方も理解できるコミュニケーション能力と、他者と相互に協力しながら行動する能力を養うため									
5 解決・統合(問題解決力) 獲得した知識やスキル、考え方や経験等を総合的に活用することによって、エネルギー・環境に関する課題に対して、計画性をもって実行・解決する能力を身に付ける。							○	○	
(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) エネルギー・環境に関する課題に対して、獲得した知識やスキル、考え方や経験等を総合的に活用し、計画性をもって実行・解決する能力を養うため									
(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由)									